

残された貴重な古写真だが、人物・場所・年代・撮影者など本当に間違いはないのでしょうか？

フェイスブック版

古写真研究こぼれ話 二

— 真実を求めて —

高橋信一(元慶應義塾大学准教授)著

体裁：四六判・上製本・カラーカバー装・オビ付・本文 310 頁・掲載写真 150 枚 価格：本体 2,000 円

古写真には発見の喜びがあります。

過去の常識に拘らずに古写真を見れば、専門家が見過ごしていた新しい事実を発見出来ます。

その例を古写真界のシャーロック・ホームズがお見せします。

古写真界の常識への挑戦 高橋信一

私が 10 年間やって来たことは、ベンチマークになる写真の集積作業を始めとして、きちんとした学問的な手法を駆使して古写真界に蔓延している誤った常識を正そうとしたことです。古写真の歴史の資料としての価値を向上させるためには、過去の専門家・権威者たちが説明して来たことを全て一から見直して行く作業が必要であるとフェイスブックで常々主張して来ました。これまで沢山の古写真関係の本が出されて来ました。出しっ放しで、古い学説を新しい知識で見直そうと誰もしませんでした。それを何とかしたいと思ってやってきました。対象は『写真の開祖・上野彦馬』、『写真集・甦る幕末』、『幕末・写真の時代』、『幕末明治の肖像写真』、そして山川出版の『レンズが撮らえた・・・シリーズ』しかりです。賛同者が少ないのは仕方ないと思います。他の学問に比べれば、古写真の研究者が圧倒的に少なく、公やけの情報交換やディスカッションの場がほとんどない現状では。

最初の出発点は、「フルベッキ写真」の偽説への反論だったので、似非作家や程度の低いマスコミや妄想を抱く素人、売名や金儲けのネタにしようとする輩など、自然と偽説の連中との付き合いがいろいろありましたが、それは一種の探偵ごっこです。私をそういう連中がどう利用しようと、私のやって来たこととは何の関係もありませんので、気にしていません。偽説について私が証明したことが最終的に真実であり正しいのですから。偽説ではないにしても古写真界に存在する同じような誤った認識の一つに対して、「巡幸パノラマ写真問題」の解明を本書でやったと思っています。明治 5 年の『西国巡幸写真帖』は内田九一と上野彦馬の合作だったことを状況証拠だけでなく決定的な証拠で明らかにしました。さらなる証拠はこれからもいくつも見つかると思っています。今は信じてくれる人が少ないですが、事実を屁理屈で歪曲したり隠蔽したりすることは出来ません。明らかになった事実はいつか必ず認められると思います。

今後も解明すべき古写真のテーマはまだいろいろ出て来ると思います。どんな新しい仮説が作れるか楽しみです。解明困難な仮説ほどファイトが湧きます。本書を出版することで、一区切りつけて、また明日から古写真と取り組んで行きます。年齢を問わず、私といっしょにやりたいという方が出て来るといいのですが。そう願ってフェイスブックの原稿を積み重ねて行きます。本書を開く前に、昨年 9 月に出版した『フェイスブック版古写真研究こぼれ話—真実を求めて—』をまだお読みでない方は、一度手に取って見て下さい。古写真を考えるヒントになる新しい発見の例が沢山載っています。(本文より)

好評発売中：『フェイスブック版古写真研究こぼれ話—真実を求めて—』高橋信一著本体 2,000 円【日本図書館協会選定図書】

【高橋信一略歴】1949 年東京都武蔵野市生まれ。1974 年慶應義塾大学大学院修士課程電気工学専攻修了。2011 年慶應義塾大学理工学部准教授退職。工学博士。フェイスブック：<https://www.facebook.com/shiichi.takahashi.940>

＝ 注文書 ＝

ISBN978-4-902119-00-0 C0021 ¥2000E

書店名

高橋信一著『古写真研究こぼれ話—真実を求めて—』第二巻を()部注文します。

平成 年 月 日

ご住所：〒

TEL/FAX：

ご芳名：

地方・小出版流通センター取扱

渡辺出版 〒113-0033 東京都文京区本郷 5-18-19 (Tel./Fax.:03-3813-2330) E-mail:watanabe.com@bloom.ocn.ne.jp